

令和3年11月24日

交野市長 黒田 実 様

交野市環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 玉井八恵子

令和3年度交野市環境マネジメントシステム 監査報告書

1. 監査日程

令和3年10月11日(月)午前9時30分から午後5時30分

2. 監査目的

交野市環境マネジメントシステム（以下「K-EMS」という。）を導入し、交野市が管理運営及び保養する施設に勤務するすべての者を対象に、事務事業における温室効果ガス削減と環境負荷低減に重点を置いた取組が実施されているが、令和3年度、K-EMSの見直しを行うことを踏まえ、エネルギー使用量の多い施設の省エネ及び創エネ、現状の対策、今後の予定等の確認を行う。

3. 監査対象

実行部門25施設（9課2者）

部	課	施設
総務部	総務課	市役所本庁舎、別館等
健やか部	こども園課	あさひ認定こども園 くらやま認定こども園
福祉部	社会福祉協議会 福祉総務課	保健福祉総合センター
環境部	環境事業課	環境事業所
学校教育部	まなび舎整備課	市立小中学校（14校）
	学校給食センター	学校給食センター
生涯学習推進部	社会教育課	青年の家、武道館
	株式会社美津濃 社会教育課	総合体育施設
消防本部	総務課	消防署

4. 監査チーム

所属等	氏名	所属等	氏名
交野市民	玉井 八恵子	NPO法人木野環境	丸谷 一耕
交野市民	小林 祐子	NPO法人木野環境	上野 務
交野市民	中村 祐二	NPO法人木野環境	宇高 史昭
交野市職員	安永 雄一	事務局	谷口 勝臣
交野市職員	岩城 進乃助	事務局	魚住 香陽子
交野市職員	木村 信二	事務局	宮下 優介

市民3名、交野市職員3名、有識者（NPO法人木野環境）3名、事務局3名 計12名

5. 監査スケジュール

- 9:30～ 9:40 オープニングミーティング 推進本部長 監査開始挨拶
9:40～ 9:50 チームミーティング 監査目的確認、予定確認 (事務局)
9:50～ 監査施設へ移動
10:00～11:00 監査実施①
移動
11:00～12:00 監査実施②
移動
12:00～適宜 昼食休憩、移動
13:00～14:00 監査実施③
移動
14:00～14:30 監査結果とりまとめ (監査チームミーティング)
14:30～15:30 監査結果とりまとめ (全体ミーティング)
15:30～16:00 監査結果報告とりまとめ作業 (木野環境)
16:00～16:30 監査結果概要報告内容協議 (全体ミーティング)
適宜休憩、クロージング準備 (事務局)
17:00～17:30 クロージング 交野市長へ2次監査結果概要報告

6. 監査所見

K-EMS マニュアルに基づいて、事務事業が有効かつ適切に運用されています。
また、貴市のエネルギー使用量の多い施設の省エネルギーなどについて、現状の対策、今後の予定等を今回確認しました。

7. 監査結果

判定区分	件数	概要
指摘	1件	・環境法令（フロン排出抑制法）の遵守について、該当する設備がないか把握し、点検等実施をお願いします。記録も残してください。
改善・提案	15件	・備品リストを活用する等をして、機器リストを作成し、該当する法律を把握することを提案します。また、法律の改正についても把握に努めてください。 ・公用車を使用する際にエコドライブのすすめを携行するようにお願いします。（シールの貼付やラミネートにする等） ・職員へのグリーン購入の周知をお願いします。

<p>適合・優良</p>	<p>80件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールカーテンの設置による遮熱、LED 化などを進め、省エネに努めていました。また、市民利用の多いフロアのトイレにモーションセンサーや自動水洗を導入されていました。 ・パッカー車の点検整備を職員が行っており、車の状態を職員へ情報共有していました。 ・エコドライブの心掛けができていました。 ・停車時等不要なアイドリングをしないように日常的に呼びかけが行われていました。 ・節水の徹底が行われていました。・空調機器等の出力ダイヤルに矢印を貼り付け、利用者に適正利用を呼び掛けていました。 ・定期的に設備の点検記録がなされていました。 ・点検記録は項目ごとに分けられ整理整頓されており、誰もが閲覧できるようにされていました。 ・ゆうゆうセンターで車の管理を総合的に行い、効率の良い運用をしていました。 ・雑紙の分別は徹底していました。 ・担当者が、エネルギー消費量について原因を分析していました。 ・待機電力節電の徹底を確認しました。 ・コピー機の取り方について、拡大や縮小、倍率などの掲示を行っていました。 ・LED への変更について、検討がなされていました。 ・食品ロスが減少傾向であることを確認しました。 ・生ごみの液肥、コジェネレーション、デマンドコントロールなど新技術がうまく活用されていました。
--------------	------------	--

総括

<ul style="list-style-type: none"> ・取組の継続的改善を図るために環境マネジメントシステムによる取組成果を庁内全体にフィードバックする仕組みの検討をお願いします。 ・今後、環境負荷の低い施設となるよう期待します。 ・公用車の管理については自発的に取り組まれており、職員全体のエコドライブの意識が高い。 ・環境教育やフリーマーケット等、対外的な取り組みがコロナ禍で思うようにできない状況にあり、新しい取り組み方法を模索している状況もうかがえました。 ・子どもと一緒にごみの分別学習や緑のカーテンを育てるなど、未来につながる環境づくりをされていました。今後も継続をお願いします。 ・新たに建設する小中一貫校について、環境負荷の低い施設となるよう期待します。 ・太陽光の設置等、技術革新があることから、過去の結果にとらわれることなく、検討をお願いします。 ・施設の老朽化や管理する物件が多岐にわたる（武道館、会議室、事務室など）ため、空調にかかる運転管理（デマンド）に苦勞している様子うかがえました。利用者との対話によりお互いが合意できる運用を目指していただけたらと思います。 ・指定管理者（総合体育施設）が適正に設備管理を実施していました。 ・設備の老朽化により、トラブルが発生した時に代替設備利用によるエネルギー消費量へのインパクトが大となるため、設備異常時における対応策をあらかじめ検討することを提案します。
